多摩川市民広場周辺実施区域の機能再編整備プラン

資料6-1

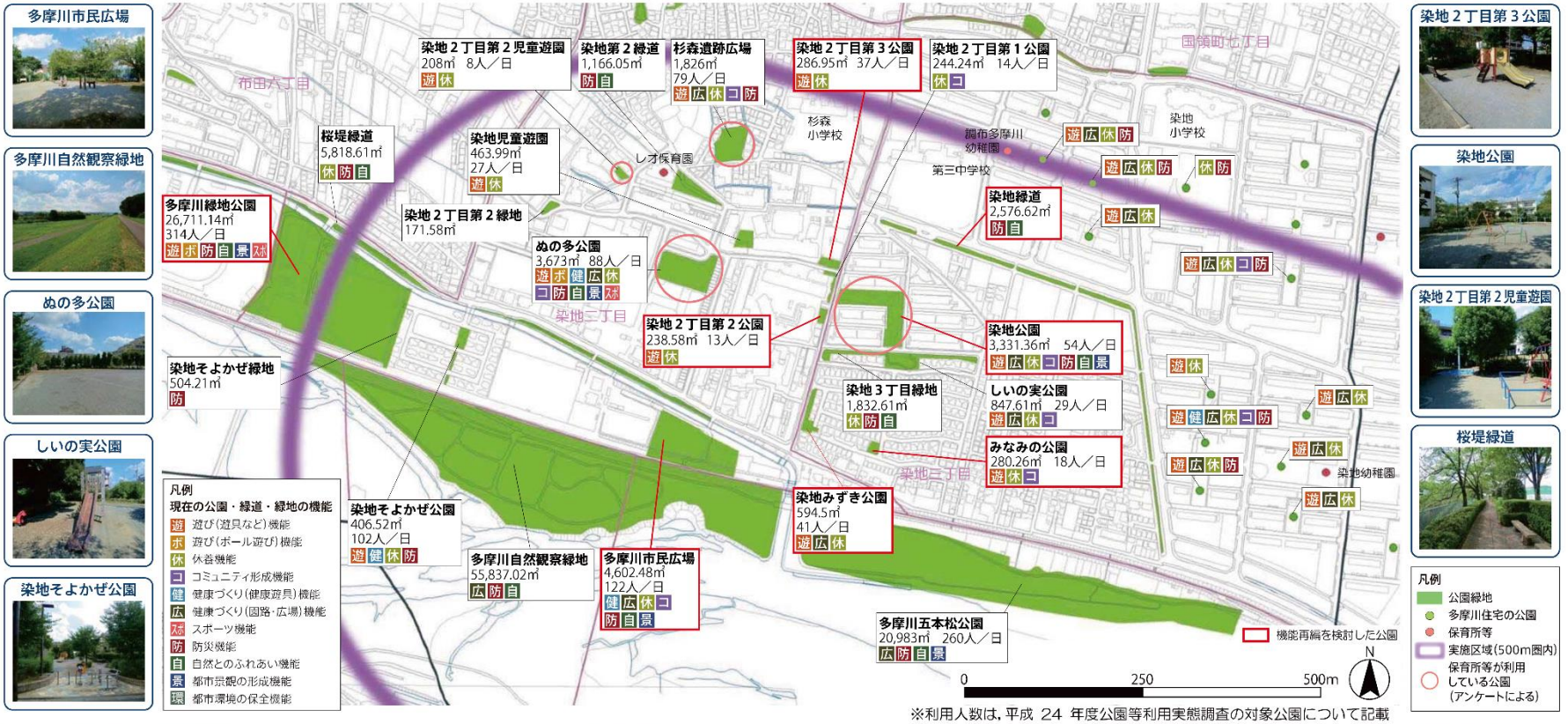
●多摩川市民広場周辺実施区域

①実施区域の現況と特徴

- 多摩川に面して大規模な公園・緑地やスポーツ施設が集積しており，スポーツレクリエーションで訪れる人が多い区域です。
- 実施区域の半分を占める染地３丁目は高齢者率が市内でも高い傾向にあります。
- 区域内に緑道が２か所あり，公園間を移動しやすい環境を創出できる可能性があります。
- 区域東側は多摩川住宅（多摩川住宅一団地の住宅施設）であり，市立公園が整備されていませんが，多摩川住宅内の公園により各機能が満たされています。多摩川住宅は今後建て替え等を予定しており，状況の変化が見込まれます。

公園の種類		箇所数	合計面積
都市公園	公園	12	62,200㎡
	児童遊園	2	672㎡
仲よし広場		1	1,826㎡
緑地		4	58,345㎡
緑道		3	9,561㎡
合計		22	132,604㎡

公園等の配置と機能の状況



※利用人数は，平成 24 年度公園等利用実態調査の対象公園について記載

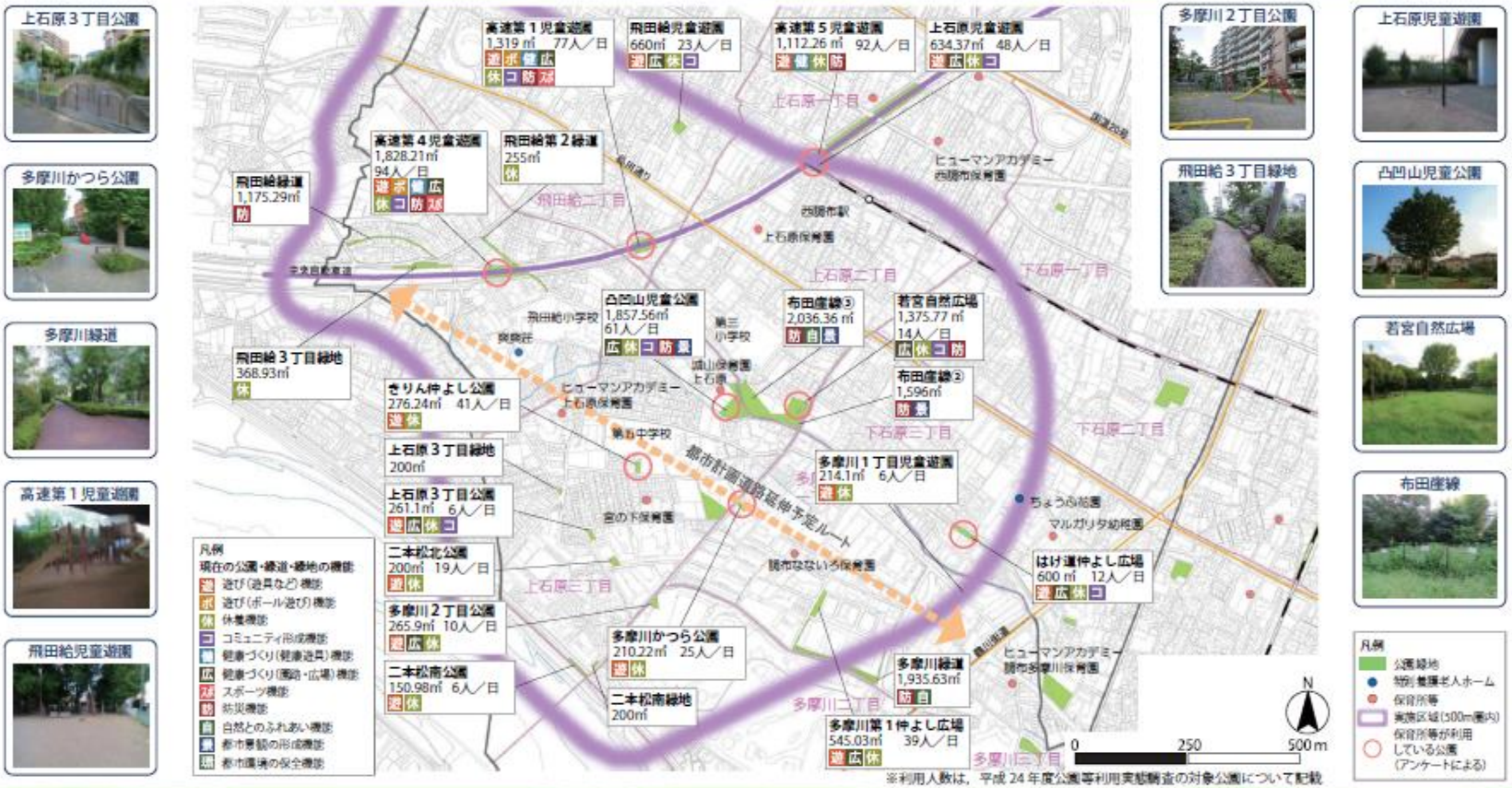
（２）凸凹山（でこぼこ）児童公園・若宮自然公園広場周辺実施区域

①実施区域の現況と特徴

- 貴重な自然である布田崖線の樹林地が残されており，保全していくことが必要です。
- 凸凹山児童公園及び若宮自然広場については，隣接地を含め一体的な整備を行う必要があります。
- 中央高速道路の高架下に面積が大きく大型複合遊具のある児童遊園が集中する一方，区域南側には小規模で似通った公園・緑地が多くあります。
- 用地返還及び区域内の都市計画道路の延伸により，比較的利用されている公園２箇所が廃止予定であるため，機能の代替が必要です。

公園の種類		箇所数	平均面積
都市公園	公園	8	430 ㎡
	児童遊園	5	1,111 ㎡
仲よし広場		3	840 ㎡
緑地		3	256 ㎡
緑道		3	1,122 ㎡
崖線		2	1,816 ㎡
合計		24	803 ㎡

公園等の配置と機能の状況



※利用人数は，平成 24 年度公園等利用実態調査の対象公園について記載